

昭和52年(1977年) 発行・前橋市役所/編集・総務部秘書課/毎月1日・15日/昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部16円) 第634号



0

とじて保存しておいてください いつかまた お役にたつことと思います

0

木枯しの中のひだまり――。団地の遊園地は、小さな子どもたちの天国。着ぶくれした赤いほっペ の女の子。ジーンズのひざをすりへらして走りまわる男の子。その声が建物の壁に反射してひびく。 真赤な夕日が、五階建ての棟の向うに、ゆっくりと沈む。 — 絵·田 中 恒 夫—

更内の 土地 都市 管 室を記 両毛 す。 市 節を は、 ない より ます ラフ 花台 E n p

考えられますから、登記の申請並 でに謄・抄本、印鑑証明書等の すよい、なるべく早めにされますよ うお願いします。 ール審査結果=都道府県・市区町 村選挙管理委員会が主催して行っ た昭和五十二年度明るい選挙啓発 は 二年末の 登記事務 二年末の 登記事務 二年末の 登記事務 二年末の 登記事務 二年末における に処理することができない場合も に処理することができない場合も 行を支障する事故が起きてまいり よる列車架線事故の防止=風の季 □農事用ビニール・たこ上げ等に 村分)>奇数月の五日・六日へ高 □水道検針日の変更=へ嶺町(本 遥いたしました。 八日となります。 <高花台二丁目>奇数月の七日・ 生の新井祐二君の作品が佳作に入 ポスターコンクール中央審査(全 財 第 発 公 社 再開発室 広報手帳 事務室の一部を次のとおり変 このたび両毛線連続高架対策 ようど協力ください。 や架線にまきつき、列車の運 らが飛来して電車のパンタグ 子供によるたこ上げが増え、迎え、農事用ビニールの舞上 緑連続高架対策室・本館四階 たしますので、お知らせしま 設置したことにともない、庁 役所の事務室

一部変更

一市で において、元総社小学校三年 一丁目>奇数月の六日・七日 お互に十分注意して事故の 沿線住民のかたがたはもと >奇数月の五日・六日へ高 登記、戸籍、国籍、 は人権・身の上相談、 談を行います。内容 設=一月六日(金) 午後一時から四時ま □法務総合相談所開 ト七階で法務総合相 で、前橋西武デパー 新館地階 本館二階

昭和52年12月15日号

ために活動しています。の人たちの社会福祉の増進の

された弱い人、不幸な人たちされた弱い人、不幸な人たち された弱い人、不幸な人たち での児童福祉の問題── な

ため、広い範囲にわたり地域また、豊かな社会を実現する

るようにと活動しています。

昭和52年12月15日号		広報まえばし 2
目)大島清子(同)	神町四丁目) 根本 市町四丁目) 展生・児童委員名 第 「同) 橋本ユ文社(同) 薬師町一丁目) 須田良作(同) 瀬志安之(岩神町) 一丁とみ(岩神町三丁) 合 常 一 た 一 大 人 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	祉活動の担い手″ 児童委員338人を委嘱
ナ(旬) 小川(入) (」) 小川(入) (」) 小池(人) (」) <td>田端美榮子(同)鈴木八重 1000000000000000000000000000000000000</td> <td>民生・児童委員の</td>	田端美榮子(同)鈴木八重 1000000000000000000000000000000000000	民生・児童委員の
町二 「 二 丁 二 丁 二 二 市 本 清 石 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	LANG HULL	
民生・児童委員の任期は三 常などの生活援護 ⁽²⁾ 寝たきり 交通3 での生活援護 ⁽²⁾ 寝たきり 交通3	(同)青木好子(三河町一丁目) 吉岡百尾子(同)山口匡子(同) 白石賢海(同)小林タミ(三河町 二丁目)斉藤千代子(同)山口匡子(同) 岡田シマ(同)本井三男(同) 岡田シマ(同)本井三男(同) 町シマ(同)本井三月)斉藤 町三丁目)館野ゆきよ(同) 岡町三丁目)左藤年代子(同) の家晴雄(同)六月二日)百丁目) 「南部地区(二十一人) 「南部地区(二十一人) 「日)前田みつ(同)渡辺フデ(文 文利(同) 藤井治太郎(京町二丁目) 大崎基弘(同)中條 大郎(南町二丁目)橋本緑司(同) 元川月(南町三丁目)橋本緑司(同) 元川月(南町三丁目)橋本緑司(同) 元川月(南町三丁目)大島基一(文京町 丁目)大崎基公(同)中條 文利(同)藤井治太郎(文京町二	
	(鶴光路町)田村忠太郎(新堀町) 岡本三郎(下阿内町)羽鳥照次(力 九町)清水養彦(房丸町) 一芳賀地区(十四人) 町満水養彦(房丸町) 一方賀地区(十四人) 町茂(五代町)晋水養彦(房丸町) 小林舎よ(小坂子町)市川林芝(高町) 木村利郎(同)書上守一(金丸町) 竹リウ(高花台二丁目)高市川林平(同) 小林舎よ(小坂子町)市川林平(同) 小林舎よ(小坂子町)市川林平(同) 小林舎よ(同三丁目)県山 で夕(同)安藤一男(同二丁目)常山亮子 「高花台二丁目)島田静江(同) 丁銀蔵(東片貝町)公共(嶺町) 古屋國太郎(三俣町一丁目)茂木 フク(同)安藤一男(同二丁目)茂木 フク(同)安藤一男(同二丁目)茂木 フク(同)安藤一男(同二丁目)茂木 フク(同)安藤一男(同二丁目)茂木 フク(同)安藤一男(同二丁目) 古屋國太郎(三円町) 古屋國太郎(三円町) 古屋國太郎(三円町) 市山奈子 (高花台二丁目)高橋清 本忠太郎(同) 山 下銀蔵(東片貝町)第國治(同)山 下銀蔵(東片貝町) 第二日) 「日) 「日」 「日」 「日」	「日)内山きみ江(同)牛島重利 (天川原町)長谷川せき子(同) 高橋作太郎(六供町)高橋米子(同) 市山はつ子(六供町全川)大谷芳文 (同) 「上川淵地区(二十五人) 中島一雄(上作島町)砂川 一上川淵地区(二十五人) 中島一雄(上作島町)(一上川淵地区(二十五人) 中島一雄(上作島町)(一上川淵地区(二十五人) 町一丁目)永井ハツ(朝倉町) 町一丁目)永井ハツ(朝倉町) 町一丁目)永井ハツ(朝倉町) 町一丁目)和野英夫(宮地町)御婚 (同)高宮光子(広瀬町二丁目)(大橋啓佑(同)宮下重馬(山王町)) 町二丁目)(「一上川淵地区(二十五人) 町一丁目)(「一上川淵地区(二十五人) 「町一丁目)(「一上)(「一丁目)(「一丁一丁)(「」)(「一丁)(「一丁)(「」)(「」)(「」)(「」)(「」)(「」)(「」)(「」

寿(北代田町)久保木はる江(同) 南橋地区(三十一人) 「南橋地区(三十一人) 「前、町野宅し(下細井町)金子 一雄(同)日黒利重(同)狩野若 一雄(同)日黒利町(総社町 桜ケ丘) □元総社地区(十七人) □元総社地区(十七人) □元総社地区(十七人) 章(同)海小路乗正(同)布邮八 章(同)海谷ミチ子(同)和木節 章(同)小室秀行(同)石田節(同) 章(同)小室秀行(同)石町節(同) 森山郡(石倉町二丁目)松井和子(同) 四市太節(石倉町)金井浅男(鳥羽町) 久雄(石倉町)金井浅男(鳥羽町) 国家太郎(川曲町)今井寿(稲荷 町次万吉(小相木町)文井寿(稲荷 町次万吉(小相木町)文井寿(稲荷 町次五丁目)箱木淑子(同)内 田清(下新田町)牛込亘(同)倉 村が丘町)飯塚正勝(光が丘町) 日が丘町)飯塚正勝(光が丘町) 町二丁自)村田千代(同)半澤勝政(同町二丁自)村田千代(同)子庸勝政(同)町町 (同)田村僚一(同)三輪源治(石関)町)関覚太郎(亀泉町)樋口和代(同) 平田尭一(荻窪町)山本悦子(堀 平田尭一(荻窪町)樋口和代(同) 平田尭一(荻窪町)樋口和代(同) 平田尭一(荻窪町)山本悦子(堀 平田売一)村田千代(同)半澤勝政(同 ○東地区(二十人) 「東地区(二十人) 「東地区(二十人) 「東地区(二十人) ツ子(同)多菊忠道(同)小野里 **轟光順(同)**

広報まえげし

2

今回、いっせいに改選され を していたときはご相談 ください。	喜久治(野中町)小嶋千冬(駒形町)根岸輝夫(同)瀬赤ため(同) 若林仁作(同)櫻井松男(同) 上善之助(西大室町)令井熊太 郎(泉沢町)吉田みや(富田町) 大澤勇吉(同)藤生正則(荒口町) た才澤勇吉(同)藤生正則(荒口町) 小屋ひさ江(同)藤生正則(荒口町) 小屋ひさ江(同)藤井志ま(小屋 明)小屋で)(同)斎藤みつ子 (今井町)中嶋彦一郎(笂井町)岡たけ (同)内田富次(同)斎藤みつ子 (今井町)小林金郎(下増田町)細 野則江(同)関口恒二(下大島町)細	に に に に に に に に に に に に に に	

3 広報まえばし

昭和52年12月15日号



入・ル・28・31・か・消・と民出 検バ 大日夜日違ら特防 警おの火市 査 12型 か間ま法 30 別学備 り警危 消 、月店ら 警で駐日 警校要 特火機防	歳	農の 意義末火災予防	離 具 とれ い す思 がしから れ③を②きを①明次。わ風発たに、年 な台正このしたるの ぬの生日なとの い所した寝なばいて 大強すがりか瀬
■ 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	末特別警戒	かや め	は、そのあわただし なく火の取り扱いがちです。 そのあわただし なるにする。 そのたち。 やいっ特に、おおしょう。 そのたち。 やないはに、ためしょう。 で火を使っているため がある。 しょうです。 のにかる になる ためたたし になる ためた がた です。 をののあわただし のただし のたる になる たの たの た ので、集中的 になる た ので、 集 の の た の で す の で 、 た の で す の で 、 た の で の で 、 の で の で 、 の で の で 、 の で の で の で の で の で の で の で 、 の で の た の で の で の で の で の で の た の で の の の の の の の で の の の の の の の の の の の の の

ロ町)丸山利房(駒形町)荒木優 「上大島町)小池良男(田口町) 島田常三郎(国領町二丁目)瀬下 とめ子(荒子町)臼田寿太郎(家町一丁目)須賀茂(下大屋町) 小林徳男(上佐島町)町田己次(青 小林徳男(上広島町)町田己次(青 市)八木原宜太郎(下大屋町) 出町)八木原宜太郎(下大屋町) 出町)八本原宜太郎(下大屋町) 田平三郎(西大室町)州和夫尾町) 田平三郎(西大室町)小林邦夫(堤 町)細野英雄(朝倉町二丁目)瀬下 日平三郎(西太室町)小松本国 大郎(駒形町) 大屋(泉	なら自然に消えてしまう小なら自然に消えてしまう小 事二回 事二回 「小子」「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	た に な た で す 。 こ れ れ に な た れ た た た た た た た た た た た れ た か ら 火 災 や り 、 た れ た の た の た 、 、 の た の た の た の た 、 た れ た の 、 た ろ の 、 た ろ の 、 た ろ の 、 た ろ の 、 た ろ の 、 た ろ の 、 た ろ た の た 、 た ろ の た で た で た で た た の た た た た た た た た た た た た た	原14 八 因件災

昭和52年12月15日号

部分は防寒設備のないものや、不 **裂事故が急増します。この事故は** たが、お宅の水道管の冬じたくは んから受けましたが、これらの大 すが、最も多いのは一月から二月 になると、凍結による水道管の破 れていますが、マイナス四度以下 もうお済みでしょうか。 り日増しに寒さが加わってきまし いといわれています。十二月に入 十二月から二月にかけて発生しま 「三件の修理依頼を市民のみなさ 「自となっています。 昨年の最高は二月一日で、五百一 水が凍るのは、零度以下といわ 今年の冬は、寒暖の差がはげし 家庭でできる蛇口の修理方法 一般家庭の水道の故障で、いちばん多いのは 蛇口からの水もれです。この程度の水もれはパ 水道管の冬じたく ッキンを取り替えるだけで簡単になおせますの う! を早めましょ で、奥さんも一度ためしてみてください。 破裂した場合は、お近くの水道局 指定水道工事店へ連絡してください。 ださい。 ことがありますから、注意してく に熱湯をかけると蛇口が破裂する け、 の上からゆっくりとぬるま湯をか □水道の蛇口が凍っているとき い。がうや布、新聞紙を入れてくださ 温材がぬれないようにしてくださ ■パッキンのとりかえ方 て、メーターボックスの中にモミ 60 ビニールテープなどで巻いて、保 どを図のようにまき、その上から 取り付けが簡単にできる市販品が 布、あらなわ、フェルト、こもな ありますが、手近な方法としては、 「家庭でできる防寒設備 円の費用がかかります。 千円、パッキン取り替えで約五百 破裂で約五千円、蛇口破裂が約二 ところ、北風が強くあたるところ、 すれば未然に防ぐことができます。 するわけですが、水道管一か所の てください。 どは凍結しやすいので特に注意し 十分なものが多く、 なお、凍結により水道管などが タオルを蛇口の上にかぶせ、 水道管や蛇口の保温材として、 修理代は、 日中日陰になっているところな 水道管がむき出しになっている 気長に溶かしてください。 また水道メーターの防寒とし ①まず水を止めましょう。 量水器の「フタ」をあけ ーターの中にある止め みなさんが直接負担 栓の「ハンドル」を矢印の 方向にまわして水を止め B ちょっと注意 ます。止水せんがわから ないときは、家中のじゃ H 13 口を全部あけ、水の勢を 急 z 弱めましょう。 ②上部をはずしましょう。 所・氏名・職業・年齢・性別・電 キー等は各自持参してください。 十分集合(出発六時)、帰りは 村)。参加料は無料です。 象に「スキーの集い」を行います。 われた。 まずスパナでパッキン 午後六時市役所着の予定です。ス 行先は岩鞍スキー場(利根郡片品 路へ転封となり、 を占め、四代忠清のように大老と にあたり、「汝に関東の華をとら信頼され、川越から前橋への転封 から二十五歳までの青年男女を対 市内に在住、 なって、時の政治を動かす者も現 は徳川氏家臣の中でも重要な位置 て続くのである。この間、酒井氏 支配は、約百五十年間、九代に渡っ に従って数々の戦功をあげたため す」といわれたという。 橋)城主となった。重忠は、 忠は、平岩親吉に代わって前橋(厩 参加希望者は、往復ハガキに住 THE WILLIAM STATE やがて、寛政二年忠恭のとき姫 当日は、市役所に午前五時三 新しい仲間づくり 市教委では、 こうして始まった酒井氏の前橋 慶長六年(一六〇一年)酒井重 押えをゆるめてからハン ス ドルを全開して上部をは 5 + ずします。 在勤、在学の十八歳 1 一月二十九日(日) 0 前橋城の主は松 集 ③新しいパッキンととり 61 家康 かえましょう。 コマをとり出してナッ トをゆるめてはずし、新 これを つまみ出す しいパッキンととりかえ 三十分から三時まで。対象は幼児 六十人。講師は村田康男さん。 □映画をみながらおはなし聞こう 課(電話32局六五三八)へおたず ださい。先着百人で締め切ります。 年仲間づくり係あてお申し込みく 丁目八一八、市教委社会教育課青 話番号を記入のうえ、千代田町一 ねください。 いる。これらを調査された松田徳 並びに由来書とともに伝えられて 英寺には、酒井重忠画像が口伝書、 呂川の北、大手町三丁目にある源 平氏へと代わる。 (親といっしょ)から小学校児童 松氏の所見によってみると、次の とおりである。 ゴムハ 詳しいことは、市教委社会教育 同語市の 0+0 ます。ナットをもとどお 掛軸仕立てで紙本、極彩色の日 児童遊園地の北辺を東流する風 児童文化センタ りしっかりとしめつけて U 酒井重忠画像 安館駅 ください。 電話24局二五四八 ④上部をはめこみましょ う。 コマを上部の穴にさし こみ、落ちないよう指先 でかるく支えながら、も **4**5 1 とのように組みたてます。 + うまくはまらないときは 上部を2~3回左右にま □自転車の練習をしよう い。自転車はセンターのものを使 までに来館して申し込んでくださ 校四年生から六年生まで四十人。 から十時三十分まで。対象は小学 受け付けます います。費用は無料です。 のもののほか、姫路市姫路城に一 とある。 算、 画長六三・ 五蒜、 本画。 半球状のコマ わしてください。 一月十七日 練習を希望する人は、当日九時 十二月二十五日(日)午前九時 元和二年五月河内守重忠の自筆 来年一月十五日(日)午前十時 1月15日県民会館大ホールで 第三十回成人祝 「酒井重忠画像は、この源英寺 軸長一 ⑤上部をしっかりとしめ つけましょう。 £ ハンドルを調節しなが 四一樣、 から、 らスパナで上部をしめつ から申し込みを けます。止水せんをあけ 電話または直 て水を流してください。 幅三二葉。 幅四四・五 これで修理完了です。 ります。補助金の限度額は一人五 を交付します。 願いします。 たいかたも、 から、 大ホールで行います。 るが、 聴 ホームシグナル設置者へ補助 覚障害

酒井重忠画像

点あり、

絞の配置、 手足等に至 るまで源英 **顔、衣裳、** の鳥帽子、 れと比較す ると、画像

広報まえばし

4

昭和三十二年四月二日から昭和三 忠の墓所は、龍海院の歴代墓地の に一種の重みを加えている」 拙の点があり、その点が却って画 のものが古く、その筆勢に些か稚 ところで、六十九歳で没した重 第三十回成人祝を県民会館 色彩等からみると、源英寺 寺のものに 酷似してい 対象は、

なお、服装ま 近に同課へ。 にそい、華美にならないようにお 連絡ください。また、市以外に住 は24局一一一一内線二九二) 会教育課(電話32局六五三八また 市在住者約三千五百人。 届かなかった場合は、市教委社 者に通知します。年内に通知の 十三年四月一日の間に生まれた本 んでいて、本市の成人祝に出席し 十二月二十日どろまでに該当 NC

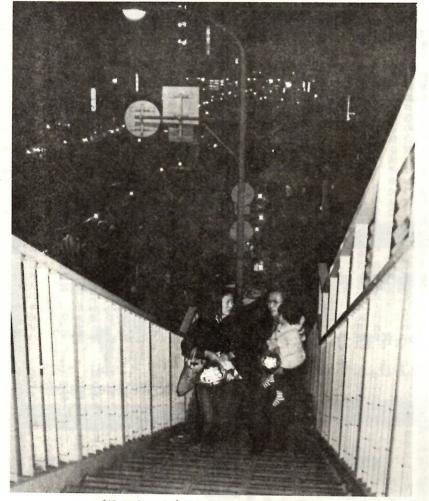
者 用

すぐわかるようにするためのホー 宅に来客の訪問を受けたときに、 市では、聴覚障害のかたが、自

害等級三級以上の聴覚障害者で、 居者が児童・老人であることに限の障害を有する世帯ならびに、同 ②単身世帯および配偶者が、 ムシグナルの設置に対し、 対象者は、①本市に居住し、 補助金 同等

局一一一一内線二一七) の場合は調査により選定します。 に、市厚生課障害福祉係(電話24 んでください。なお、希望者が多数 千円。人員は十人。 希望者は、十二月二十五日まで へ申し込





<推せん> 坂木天心さんの「初市の帰り道」

昭和52年12月15日号



和町一丁目)城田信之(石倉町三 町三丁目)ヂンギス・オカベ(平 夫(総社町総社)北爪信夫(若宮 丁目)真下常政(女屋町)福田隆宮町四丁目)塩野裕之(朝日町三 目二〇一一二)▽入選=神久勇(若 崎市上中居町七七五−二)▽準特 細井町二三-四七)吉井経夫(高 総合審査入選者 □前橋三大まつり写真コンテスト 丁目) 〇二) 斉藤政太郎 (西片貝町五丁 選=福本利之(北代田町四〇四-丁目五九〇)▽特選=阿部克美(下 一)川田知己夫(総社町総社一一) ▽推せん=坂木天心(藤岡市四 今井繁(日吉町二丁目)田

□前橋まつり写真コンテスト入選坂子町)

このコンテストは、

五十二年内

市"

(特選) |

など、十六点の入賞作品が決まりました。

(特選)吉井経夫さん(高崎市上中居町七七五-二)、初

(推薦)阿部克美さん(下細井町二三-四七)

の"民謡踊りの競演"

T

目五九〇ンの"初市の帰り道"

テスト"は、

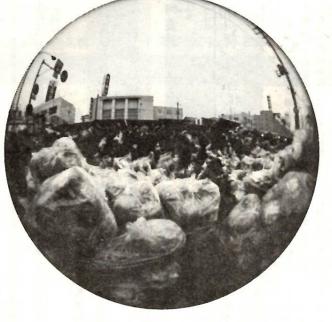
四百四十三点の応募があり、

審査の結果、

坂木天心さん(藤岡市四

市観光協会、前橋商工会議所の主催で行われた。前橋三大まつり総合写真コン

者==島津重明(城東町一丁目)福 本利之(北代田町)平野昌兵(小 本利之(北代田町)平野昌兵(小 本知治(大手町二丁目)岡 二丁目)川村都章(多野郡 新町)阿部克美(下細井町)黒沢 進治(本町一丁目)川村都章(多野郡 二丁目)▽賞外入選=阿部克 美(下細井町)



<特選> 阿部克美さんの「民謡踊りの競演」

べい横左折→

城東小

南

国道五十号を大駐車

<特選> 吉井経夫さんの「初市」

無料買物バス運行 来年の保育園児募集 ゥ っ、 商工会議所、 に なさんから大変喜とばれての三回行われ、延べ一万二 □申請用紙の交付=+二 れる就学前の児童。 使用しますから、みなさ 駐車場→東部バイパス 駐車場(天川大島町国道) おきに買物バスが往復し 弁天通り北側入口比刀根! 橋 ・ 赤 城 線 商 工 会 議 所 坂 十七号前三前 ○…一月九日初市まつ. 月二十五日が午前十時三 バス、を運行します。 合歳末感謝大廉売市と一 カーの列を緩和するため ます。 す。ただし、新設予定の所定の日時に保育所(園 調査通知書」をお渡しし 問い合わせは、 |入所者の決定||二月末 の建設現場事務所で面接 所で受け付けます。 □民生・児童委員の認印 は、現在入所中のお子さ 請を次のとおり受け付け □調査=申請書を受け 設予定の朝倉保育園につ 所を希望する保育所(園 の民生・児童委員の認印 お渡しします。 日間、各保育所(園)と ||申請書の受け付け=| り病気などで、子どもさ □入所の資格==前橋市の をおもちのかたは、お申 前橋東部方面=天川大司]前橋西部方面==中央大! 月二日が午前八時から. 当日は、郊外の大駐車 〇…詳しくは、十二月 運行コースと信 市内中心商店街 →国道五· 市福祉事 * 前橋

。路へし意 。路へし道 が が が が が が が の た 一 市 の の に つ ち 市 の し の の の の の の の の の の の の の	ださい。この
--	--------

昭和52年12月15日号	広報まえばし
れました。 現約、役員等が決めら れました。 第が決めら	$\mathbf{F}_{\mathbf{r}}$ Note $\mathbf{r}_{\mathbf{r}}$ Note $\mathbf{r}_$
	す。 24局 び従 指業業分 竹 野宗二丁 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>
マーキマネマ 本でみました。 このほか、町や地区によって、新生活運動 協議会から一括購入して配布して います。 の便利をはかっています。 このほか、町や地区によって、新生活運動 なた成し、各町に備えつけておき の便利をはかっています。 このほか、町や地区によって、新生活運動 なた成し、各町に備えつけておこっては、 の便利をはかっています。 では、自治会としてタバコ屋 本のでは、自治会です」 のしています。 このほか、町や地区によって、 新生活運動協議会事務局で では、自治会として多いろの工夫が がろいろの工夫が みられ、桂萱地 の便利をはかっています。 た、ある 町では、自治会としてタバコ屋 本の 本の本 本生活運動協議 なの しています。 この しています。 た、 本 本 な の た、 市 な しています。 た、 本 る な の た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た に た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た た 、 市 た 、 市 た た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た 、 市 た た 、 市 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 本 た 、 市 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 、 た 、 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 、 た 、 た 、 た 、 た 、 、 た 、 、 、 た 、 、 た 、 、 、 、 た 、 、 、 た 、 、 、 た 、 、 た 、 、 、 た 、 、 、 、 、 た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
	 ・つの前前に ・つの前前に ・の前前に ・の前に ・のの前に ・の前に ・の前に ・のの前に ・のの前に ・のの前に ・のの前に ・ののののののののののののののののののののののののののののの

,

 中和五 (加山五) (加山五) (加山五) (四山五) <l< th=""><th>積 所 主 ま て お た へ な 取 一 お 有 な せ あ 渡 場 た っ り 日</th><th></th></l<>	積 所 主 ま て お た へ な 取 一 お 有 な せ あ 渡 場 た っ り 日	
たさい。 たさい。 たさい。 たさい。 たた に た た に た た に た た に た た の 他 宅 に た で に 、 た 町 合 用 部 分 と そ の 他 宅 数 。 数 、 そ む の 世 告 用 部 分 と そ の 他 書 先 一 円 島 所 の 数 の と そ の 他 一 日 島 所 の 数 の と そ の 他 一 日 島 所 の た で に 、 作 明 部 分 と そ の の か と そ の の の 数 の と そ の の の 数 の と そ の の の の 数 の と そ の の の の 数 の と そ の の の の 数 の こ て に 、 、 そ 一 日 日 日 日 見 一 日 日 見 一 日 日 見 一 日 日 見 一 日 ま で に 、 そ の 他 に 、 て に 、 て ん 二 、 て に 、 て ん こ 、 て に 、 て ん こ 、 て に 、 て ん 二 、 て に 、 て ん こ の の 他 に 、 て ん こ の の 他 に 、 て ん こ の の 他 に 、 て ん こ の の 他 に 、 て ん こ の の 他 に 、 て ん に 、 て ん こ て ん こ て ん こ て ん に 、 て ん て ん て ん て ん て ん て ん て ん て ん し た て ん し た 、 ろ ん の た の た の の の の 一 の し て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん て ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん て ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん つ ん ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	和 和 お 進 し た 地 し た た だ し し た 市 上 な の 使 用 に 、 家 屋 屋 の 使 用 に 、 家 屋 の 使 用 に 、 家 屋 の の 使 用 に 、 家 屋 の の た だ に し 、 家 屋 の の 使 用 に 、 家 屋 の の 使 用 に 、 家 屋 の の 使 用 に 、 家 屋 の の 使 用 に 、 家 屋 の 使 用 に に 、 家 屋 の 使 用 に に 、 で に に た だ に 、 家 屋 の 使 用 に 、 家 屋 の の で に の で に の し た た だ に 、 家 屋 の の で に の で に の し た た 声 た 、 家 屋 の の で に 、 家 屋 の の た 、 が 、 の 、 の た に に 、 、 の し た 市 告 二 、 う で に 、 の 、 の た に 、 、 の た に に 、 、 の 、 の で に 、 の 、 の の で に の の で に の し た た ち に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 、 の で に 、 の で に 、 の で に 、 で に 、 、 の で に 、 の の で に 、 、 で に 、 で に 、 、 、 の し た た た た 、 、 、 の の し た た 、 、 、 の で に 、 、 、 、 の で に に に 、 、 、 の で に 、 、 の の の で に 、 、 の の し た 、 、 の の し た 、 、 の で に 、 の で に 、 の し た た 、 、 の し た 、 、 の 、 の の の で に 、 の の の の の の の の の で の の の の の の の の の の の の の	神車、 $h = n = n$ 一 制定工具、器具 本 よ び 開 し た 中 一 月 一 日 現 在 大 二 年 一 月 一 日 現 在 、 先 型 、 新 四 、 元 十 二 年 度) 申 告 さ れ 七 で に 、 町 市 一 日 現 在 、 五 十 二 年 度) 中 告 さ れ た の い て 、 市 一 日 現 在 、 五 十 二 年 度) 中 告 さ れ 、 、 前 五 十 二 年 度) 中 告 さ れ 、 、 南 子 、 、 市 二 年 一 日 現 在 で に の い て 、 の か た は 、 五 十 二 年 度) 中 告 さ れ 、 、 市 内 に 二 年 一 日 赤 た に 、 の か た は 、 、 市 内 に 新 馬 、 て 一 日 か ら れ に う い 。 の 一 日 か ら た に さ い 。 の 一 日 あ た ら た た 、 二 日 か ら た た た た 、 の 一 一 日 二 日 か ら に た た 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 、 の 一 、 の た 、 の 、 の 一 、 の 、 の 、 の 一 、 の 一 、 の 、 の 、 の 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 、 の 一 、 の 一 、 の 一 の 、 の 一 、 の 一 の の の の 一 の の 一 の の の 一 の の の の の の の の の の の の の



					日	曜 • :	祝日当	当番医	表			
月	E	週	内			科	外	科	婦人科	耳鼻科	眼 科	歯 科
	1 日	元 旦		千代田町1-5-5 7	「沢隆」 「合町2-7-2 1-4779 内児」		阿久沢利雄 天川大島町1041 63-1228 外		丸 江 好 二 南町4-24-16 21-8310	51-2751	大山医院 高崎市浜川町 43-6036	
	2 日	祝 日	表町1-7-10	総社町1248 升	 田靖彦 七ケ丘町10-7 1-5622 内児 		山本 竜 一 西片貝町1-200 32-3069 整		字 上 英 明 大手町3-5-21 31-7351	二 宮 貞 雄 住吉町1-5-18 31-0749	31-3885	
1	3 日	祝日	三河町1-2-12	山越剛」 昭和町3-12-14 31-5352内神5			増田正晴 高花台一丁目9-1 69-6222 整		金 沢 義 一 総社町587 51-0468	新前橋耳鼻科 古市町78 53-6170	森 平 眼 科 高崎市上中居町 27-1585	歯科医師会館
	8 日	第2日曜	元総社町225	新井有治馬 昭和町1-16-10 5 31-2083 胃内 2	 	大手町2-5-10	小林正道 広瀬町2-1-12 63-2535 整	小竹淳一 三俣町3-30-10 31-0495 外整	広瀬町3-18-10	本町1-3-2 21-2745	菅野雄行 住吉町1-17-10 31-2625	
	15 日	第3日曜	日吉町3-253-2	村山義紀 均 表町1-13-17 才 21-4643 内児 3	吉宮町1-2-11			岩神町3-18-17 31-0201 外	23-2378	田 口 賢 表町2-18-3 24-3424	丸山眼科 高崎市片岡町 22-7178	日曜・祝日の歯 科診療はここで 行っています。
月	16 日	代替休日		高野介佐 古市町514-4 52-5656 神内 3	平和町1-14-5	竜 藏寺町103		滝 沢 幸 男 関根町475-5 32-6502 整	文京町2-11-3	三 浦 一 男 千代田町3-3-7 31-5535	高 平 一 夫 千代田町5-14-4 31-3885	115 (113).
	22 日	第4日曜		箱田町1220-1		大手町1-7-7	岩神町3-12-20	前橋外科 天川町1666-1 63-1018 外整	国領町2-2-22	赤 沢 達 之 城東町5-8-4 32-7691	細 谷 眼 科 高崎市白銀町 25-0715	
	29 Н	第5日曜	表町2-8-11	後藤忠夫山 若宮町3-15-21 3 33-4737 内神 3		広瀬町 3-6-6	平和町1-15-18	野中町245-3		矢 部 寛 大手町3-4-17 31-3524	田村璋夫 朝日町2-5-13 24-5129	

昭和52年12月15日号		広報まえばし
 福祉のために。 福祉のために。 福祉のために。 第4期分は、12月の市税 一国民健康保険税 ・第5期分は、12月を日まで。 ・市民税 ・東年四月決算法人の確定申告納 ・水年四月決算法人の確定申告納 ・水日まで。 	「「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」」「「」」」「」」「」」」「」」」「」」」「」」」」	
今年も年末を控え、多量のどみが出される時期となりました。各が出される時期となりました。各なお、どみを出す場合は、決められた時間に指定された場所に出し、円滑な収集業務ができるようと協力ください。 然せるごみ だ次の地区の収集を行います。 大手町、紅雲町、南町、朝日町、 王代田町、桂壹地区、総	小市民課窓口センター 下で)1月4日(午後5時まで)31日(正午まで)31日(正午まで)1月4日(午後5時まで)31日(正午まで)31日(正午まで)31日(正午ま30) 「「一」印鑑登録 111111111111111111111111111111111111	年末・年始の 年齢の休みとなり、通常の事務は休業させてい の休みの期間中でも市民のみなさんと密接な関 時別に執務します。ただし、この事務は休業させてい なる この期間にかからないで済ませられるものは、なる
地区、城南地区(旧荒低) 地区、城南地区(旧荒低) 地区、城市町、住吉町、桂萱 地区、城市町、住吉町、桂萱	月務。 6 百 日 市 日 市 市 市 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 市 日 日 市 日 日 1 1 日 日 日 1 <td>年末・年始の 「市役所の事務は、12月88日の午後から来年1月3日までの6日間年末 市役所の事務は、12月88日の午後から来年1月3日までの6日間年末 の休みの期間中でも市民のみなさんと密接な関係にある窓口事務などは、 の手続きや届けなどで済ませられますよう、みなさんのご協力をおね ないします。</td>	年末・年始の 「市役所の事務は、12月88日の午後から来年1月3日までの6日間年末 市役所の事務は、12月88日の午後から来年1月3日までの6日間年末 の休みの期間中でも市民のみなさんと密接な関係にある窓口事務などは、 の手続きや届けなどで済ませられますよう、みなさんのご協力をおね ないします。
レ 尿 収 集 十二月二十九日(木)は午後五 時まで、許可業者は三十日(金) 正午まで収集いたします。 二十九日(木)は午後五 で、市街地中心部の清掃 で、市街地中心部の清掃を行 います。年末、年始の使用に ついては、特に汚さないよう 清潔保持にど協力ください。 ごみ受入れ業務 の た生まで、どうしても年内	\wedge 市営斎場> 12月31日は平常3時間を5時までですが、 特に火葬時間を5時までですが、 特に火葬時間を5時までですが、 日まで行います。 日まで行います。 日まで行います。 日まで行います。 日までは、閉館時間を5時まで延長しま などさい。 作中央公民館 4相談は、12月31日、12月5日 日までは、閉館時間を5時まで延長しま 本 4相談は、12月1日・2日は休みます。 この期間の来館利用者の ら11月5日まで低的は12月 日までは、閉館時間を午後5時まで延長しま 本 4日の3回休みます。こ利 月6日わ21 5時と 12月31日、12月 5時と 12月31日、12月 5時と 12月31日、12月 5時と 12月31日、12月 5時と 131日、12月 5時と 12月31日、12月 5時と 5時と 12月31日、12月 5時と 5日まで。 5日までですが、 本 第二、 5日までですが、 5日までですか。 5日までですか。 5日までで、 5日までですか。 5日までですか。 5日までで、 5日までで、 5日までで、 5日までで、 5日までで、 5日までで、 5日まで、 5日までで、 5日までで、 5日まで、 5日本 5日まで、 5日本 5日まで、 5日本 5日本 5日まで、 5日本 5日本 5日本 5日本 5日本 5日本 5日本 5日本	2 埋火葬許可、霊柩車使用許可事務 なく、早めに納付しましょう。 なく、早めに約付しましょう。 なく、早めに約付しましょう。
日、三十一日午前九時から午後五 清掃工場で受け入れますから、自 清掃工場で受け入れますから、自 たださい。ただし二百 2. 搬入してください。ただし二百 2. たたし二百 2. たたし二百 2. たたし二百 4. ないただきますが、三十日 本 り置き保管していただき、ごみ 取り置き保管していただき、ごみ 取り置き保管していただき、ごみ 取り置き保管していただき、ごみ で協力ください。 たさい。 たてみ収集 たます。	12月28日から1月2日まで休館。 12月28日から1月2日から1月10日まで休場 します。1月11日から開始します。 12月28日から1月2日まで休館。 3日から開館します。 12月28日から1月2日まで休館。 12月28日から1月2日まで休館。 12月28日から1月4日まで休館。 12月28日から1月4日まで休館。 12月8日から1月5日まで休館。 して訂正します。 12月11日から1月0日まで休館。	ヘ中央児童遊園> 1月4日から平常どおり開所します。 1月4日から平常どおり間子部 1月4日から平常どおり開所します。 1月3日まで休み、 1月4日から平常どおり開所します。 1月4日から平常どおり開所します。

ておらず、石室、石祠、石宮、厨でおらず、石室、石祠、石宮、居されるの石殿の呼び方は現在統一された。これである。これである。これである。 **たっています。** たっています。 たっています。 子など、さまざまに呼ばれていま で、熊吉さんから、十六代前の祖 は小相木町飯野熊吉さん宅のもの 家形の石殿があります。この石殿 で、ずっしりとした重圧感のある、 財)をくぐりますと、右側に墓石 ています。 空にたたずんでいます。その松の史を物語るかのように、冷たい冬大徳寺があります。寺の老松は歴 下には四国八十八番供養塔をはじ この寺の総門(市指定重要文化 この橋のたもとに古寺、天台宗 ふるさと昔語 大徳寺の石殿 前橋の野仏た



小相木町)

十七だ。屋根頂上にあります棟の造品といえましょう。高さ一層四写真の石殿は、市内でも有数な石 れている祖先の霊をこの鬼に守護 されており、この石殿の中に祀ら させているのです。 両端には、鬼面が一つずつ浮彫り 飯野熊吉さん宅の墓にあります

垂木が二重に美しく彫られていま 屋根の軒は厚く、軒下には化粧



研究家の中には、卒塔婆の彫られ き、その双方に花瓶が浮き彫りに 正面には、四段からなる階段がつ 呼んでいるかたもいます。 なお 基台 ております石殿を、四十九院塔と 本彫りめぐらされています。石仏 に室部四面には、卒塔婆が四十九 三百八十二年前のものです)。さら

われています。また石殿は神様のたねったのは、室町時代からといたれています。 がそれです。 をご神体として信仰もされてきま お礼などを石殿の中に入れ、それ した。神社の境内などにある石殿

すが、ここでは一般的に呼ばれて

いる石殿といいましょう。

えます。 年三月十 は、 緑 ど 都 正 面 に文禄四 り、室部 三段に彫 の穴)を 孔(窓式 りされた す。また 正面右側 (今から